

# 感染対策情報 「夏に流行する感染症」

令和5年7月

夏に流行する感染症として、主な感染症を紹介します。

## 咽頭結膜熱（プール熱）

主な病原体

アデノウイルス  
潜伏期間 5～7日

高熱・のどの腫れ・結膜炎の症状が出る。プール遊びやタオルの共用でも感染することが多い。学校保健安全法で「主要症状が消失した後2日経過するまで」出席停止となる。

## 手足口病

主な病原体

コクサッキーウイルス  
エンテロウイルス  
潜伏期間 3～5日

発熱とのどの痛み、口腔内・手足等に水疱状の発疹ができる。口腔内は痛みも伴うため、水分がとれなくなる場合もある。

## ヘルパンギーナ

主な病原体

コクサッキーウイルス  
潜伏期間 2～4日

高熱・のどの奥に赤いブツブツができる。ブツブツは水疱から潰瘍となり、痛みを伴う。

## 流行性角結膜炎

主な病原体

アデノウイルス

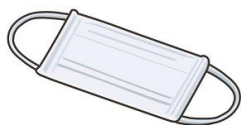
著明な結膜充血・眼脂・掻痒を認める。非常に感染力が強く、片方の目で発症した後、もう片方の目に感染することがある。学校保健安全法では「伝染の恐れがないと医師が認めるまで」出席停止となる。

上記以外に、6月号で紹介した腸管出血性大腸菌（O-157）などの食中毒や、今年は季節性に関係なく、インフルエンザ・RSウイルス・新型コロナウイルス感染症なども注意が必要です。

感染拡大を防止するために以下の対策を実施しましょう

### 飛沫感染予防策

サージカルマスク着用  
アイシールド着用



### 接触感染予防策

手袋着用  
プラスチックエプロン着用



### 手指衛生

流水と石けんの手洗い  
手指消毒

